

議 事 概 要 書

令和 5 年度 第 2 回玉野市地域公共交通会議

開 催 日 時	令和 5 年 7 月 7 日（金曜日）14 時から 16 時まで
開 催 場 所	玉野市役所 3階 大会議室
出 席 委 員	玉野市地域公共交通会議委員 19 名（欠席委員 3 名） 玉野市地域公共交通会議専門員 7 名 事務局 3 名
傍 聴 の 可 否 （非公開の理由）	可
傍 聴 人 数	4 名
議 事 次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 （1）玉野市地域公共交通の状況（令和 4 年度利用状況）について （報告） （2）令和 4 年度交通まちづくり評価検証結果（報告） （3）シーバスのルート及びダイヤ等の見直しについて（協議） <input type="checkbox"/> 承認 （4）シーバスの運賃見直しについて（協議） <input type="checkbox"/> 継続協議 （5）その他 4 閉会 詳細は、別紙会議録のとおり
特 記 事 項	無
事 務 局	玉野市公共施設交通政策課 電話 0863-32-5547

令和5年度 第2回玉野市地域公共交通会議 会議録

1 開会

2 会長あいさつ

柴田会長あいさつ

副会長指名、新構成員の紹介、委嘱状の交付

事務局より、資料の確認と新構成員の紹介等

3 議事

(1) 玉野市地域公共交通の状況（令和4年度利用状況）について（報告）

【資料1】

事務局より、資料1について説明

質疑なし

(2) 令和4年度交通まちづくり評価検証結果（報告）

【別添資料】

岡山大学学術研究院 橋本教授より別添資料の説明

質疑応答

【委員（西日本旅客鉄道株）】

- ・アンケートの中で、定額乗り放題サービスについて「サービスが改善しても利用しない」と回答した人がいるが、その人に理由を聞くアンケートを行ったか。

【橋本教授回答】

- ・その回答者に対して、直接、理由を聞くアンケートは行っていない。元々、それほどバスを利用していなかった人が、サービスを利用して見たが、自身の移動手段に合わず「やっぱり利用しないな」となる場合には、このような回答になると考えている。

【専門員（中国運輸局）】

- ・アンケート項目の「余分に運賃を支払う必要がない」とはどういう趣旨か。

【橋本教授回答】

- ・サービス料金が、1,000円であるため、1乗車一律100円のシーバスを10回/月以上利用する人達にとっては、「バスの運賃をそれ以上支払わなくて良くて、

安い」という考え、10回/月以上乗るかわからない人についても「1,000円支払っておけば、追加を支払う必要がない」という考えに結びついていると考えている。

(3) シーバスのルート及びダイヤ等の見直しについて（協議）

【資料2】及び【両備HD資料1】

事務局より、資料2について説明

両備ホールディングス(株)より、両備HD資料1について説明

質疑応答

【副会長】

(路線バス銚立線(岡山～銚立)の市内中心部への延伸について)

- ・上山坂線の減便分が銚立線に変わるが、上山坂線の減便で困る利用者はいるか。
また、その利用者への周知が必要ではないか。

【両備ホールディングス(株)回答】

- ・通学利用の高校生が1名いるので、通勤通学の利用頻度が高い便は残しているが、利用者に対してはしっかりと周知を行う。

【副会長】

- ・銚立線では、岡山までの時間はどの程度伸びるか。

【両備ホールディングス(株)回答】

- ・岡山までの所要時間は片道あたり15分から20分程度伸びるが、統合により増便し、利用いただく便の選択肢を増やすことで、利便性を向上させている。

【会長】

- ・本件の協議について、承認としてよろしいか。
(委員からの同意あり)

【会長】

- ・承認とします。

(4) シーバスの運賃見直しについて（協議）

【資料3】及び【両備HD資料2】

事務局より、資料3について説明

両備ホールディングス(株)より、両備HD資料2について説明

【委員(西日本旅客鉄道(株))】

- ・運賃見直し前に、ルートの新設等を行った方が、値上げへの理解も進むと思う

がどうか。これまでも新設時に値上げしていないようだが。

【事務局回答】

- ・これまで、運賃の値上げは慎重に捉えてきた中で、ルート新設に伴う即時の値上げは実施していない。人口減少等により路線バスが廃止せざるを得なくなった時に、市民の移動手段がなくなることから、まずはその確保を第一の目的として、シーバスの新ルート設置を行ってきた。

そのような中、運賃値上げに伴う市民の利便性向上や利用促進の取り組みについては、本日の路線バス事業者からのご提案により、一層の利便性向上等が図られるのではと考えている。

【委員（玉野市）】

- ・市では、これまでシーバスの利用者増加を重要な課題として考え、取り組んできた。このことから、コロナ禍で公共交通の利用者が減少している中でも、利用者の増加を図るために、新たな路線の設置という前向きな取り組みを続けてきた。これにより、利用者の増加や利便性の向上が図られる一方で、経費の増加及び収支率の低下が進むことが予測されることから、将来的にも路線を維持していく上で、運賃改定を考えていかなければならない状況となっている。

このような中、両備ホールディングス(株)からの説明のあった、市内のエリア内でシーバスと路線バスを同一運賃とすることやそのエリア内で利用できる定期券の導入といった、他市では聞いたことのないご提案をいただき、非常にありがたく思っている。

【副会長】

- ・市内の路線バスもシーバスも同一運賃となると、利用者にとって非常に分かり易くなり、選択肢も増えて良いことだと思う。

一方で、路線バスの運賃が現状よりも大分安くなると思うが、市から補填があることが前提となっているのか。

【両備ホールディングス(株)回答】

- ・市にその負担を求めるものではない。同一運賃にすることで外出機会を増やし、公共交通機関の利用を増やすことに繋げるための仕組みとしている。

【副会長】

- ・市から補填がないということなら、単純な値下げになるのではないかと。

【両備ホールディングス(株)回答】

- ・路線バスの運賃は、170円から200円になる区間もあるため、必ずしも単純な値下げではない。

【副会長】

- ・市として負担があり、結果としてお金がかかり持続可能にならない状態だと困るのでお聞きした。また、経費の点でいえば、今後の推計においてシーバス路線が新設された場合に、今までシータクしか使えなかった人がシーバスを利用するようになることで、シータク経費が落ちてくるのではないか。シーバスとシータクを合わせ、将来どうなるかを推計してもらいたい。

【委員（地区）】

- ・シーバスの運賃見直しの話は、以前からあったと記憶している。今まで運賃100円というタダのような値段でシーバスに乗れているが、時代的にも、運賃は値上げをしなければいけない時が来ている。また、実際に運賃200円というのは高い値段ではないと思う。

【委員（地区）】

- ・奥玉地域では、高齢化率が高くなっている。また、免許の返納者も増えているように感じているので、特に病院、買い物、市役所への便は密にしてもらおうなど、配慮をお願いする。

【会長】

- ・様々な意見をありがとうございます。なお、協議した運賃改定については、この場での決議を行わず、改めて公共交通会議で決議を行う。

(5) その他

【会長】

- ・その他事項だが、意見ある方はいるか。

【委員（地区）】

- ・荘内地区の全体の代表をしているため、永井地区からの意見を伝えさせてもらおう。永井地区からは、「永井から市役所や市民病院等まで行くには、深山公園でシータクからシーバスに乗換えて1時間以上要しているので、シータクでそのまま行けるようになりたい」という意見がある。

【事務局回答】

- ・ご意見に対して、2点ございます。1つ目は、乗り換えで最寄りの玉原～荘内線をご利用いただくと、市役所方面に行くための所要時間は短縮されるということ。2つ目は、コミュニティ交通は各事業者の協力の上で成り立っており、各事業者には、限られた時間的及び人力的の資源をコミュニティ交通に割いていただいている。その中でシータクは、エリアを分けての運行をしていること

を市民の皆様にもご理解いただきたい。

【委員（地区）】

- ・わかりました。

【会長】

- ・本会の総括をお願いする。

【副会長】

（総括）

- ・すごく重要な議論ができた。コミュニティ交通の運行のために、実は事業者の皆さんが相当、協力していただいている。だから、シータクもシーバスも運行できている。さらに、人的資源や予算等のように様々な制約の中で、できる限り最大限を実現していこうと取り組みをしている。

これは、事業者も行政も市民も全員が、少しずつ協力しながら、公共交通全体のバランスを保っていくという形になっている。今後の会議の中でも、その点を意識ながら議論できればと思う。今回は、非常に良い議論ができ良い会議になったと思う。どうもありがとうございました。

4 閉会